

島岡 まな
法学研究科・教授

【研究】

・ジェンダー刑法学、性犯罪の研究を継続し、新たに包括的反差別法の研究を始めた。共著の『ジェンダーレンズで見る刑事法』（信山社）が、2025 年 6 月に刊行された。この分野では、あらたに社会問題となっている売春防止法の改正をめぐり、買春者処罰について、特に 2016 年に北欧モデルを導入したフランス法の研究を行った。さらに、2023 年の性犯罪改正では導入されなかった独身偽装と不同意性交等罪の研究も始めた。

・科研費基盤 C「カルトによる人権侵害への刑事法的対応」の3年目にあたり、2025 年 3 月と 6 月にフランスに出張し、研究調査をおこなった。

【教育】

・「刑法 2」(250 人履修)の対面授業を行った。昨年に引き続き、Echo 教室の全講義の Live 配信と 2 週間の録画配信を行った。予習用にパワーポイント教材も事前に提供した。海外から一時帰国したという男子学生から「とても面白いという評判を聞いて聴講したい」と頼まれたため、了承した。

・演習や大学院の講義は、通常の教室・対面で行った。

・修士 2 年の院生 1 人を指導し、修士論文を完成させて、最終的に学位を取得させた。

・博士後期課程院生 2 人への個別指導も行った。

【管理運営】

・ダイバーシティ＆インクルージョン推進担当副学長は退任したが、引き続き同センター兼任教員として、同センターの活動を法学研究科へ周知する活動を行った。

・国際交流室員として、関連する議題の審議に加わった。

【社会貢献】

・関西・大阪万博開催中、大阪サクヤヒメ SDGs 研究会主催、いのち会議、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)、大阪大学 D&I センター、大阪商工会議所等共催のシンポジウム「大阪から世界へ！女性リーダー参画による持続可能な社会と経済の実現」に登壇し、国際色豊かなメンバーと意見交換を行った。

・日本学術会議第 26 期会員、科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会幹事、第 6 次男女共同参画基本計画小分科会委員長として、第 6 次男女共同参画基本計画に向けた提言「社会と学術界におけるジェンダー平等・公正の実現を目指して」作成の中心的役割を担い、2025 年 10 月 27 日の発出に当たり、代表者として記者会見も行った。

・同会議の第一部会・法学委員会副委員長、ジェンダー法分科会委員長、LGBTQ の人権保障分科会委員も兼任し、複数の見解発出に関係するなど、活発な活動を行った。

・ジェンダー法学会の理事として学会運営に携わった。

・ジェンダー刑法専門家として、オンラインを含む数回の講演を行った。

・2025 年 6 月にネット記事 President Online にインタビューが 2 回連載され、数日間で 60 万 PV 以上の反響があった。

・買春処罰および独身偽装と性犯罪に関する取材も複数回受け、朝日新聞、毎日新聞、共同通信、Japan Times 等の複数の新聞記事として掲載されたほか、朝日新聞の記者サロンでは、Colabo の仁藤夢乃氏との対談動画が配信された。